平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名　宮地エンジニアリンググループ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3431　URL　http://www.miyaji-eng.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岩倉　健雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長　(氏名) 越後屋　秀博　TEL 03-5649-0111

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	14,317	3.6	575	△14.5	590	△16.0	545	△17.9
24年3月期第3四半期	13,823	△35.2	673	△64.6	702	△62.6	664	△56.5

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　754百万円　(28.6%)　24年3月期第3四半期　587百万円　(△56.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	8.01	―
24年3月期第3四半期	9.76	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	27,929	12,156	43.5
24年3月期	28,084	11,401	40.6

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　12,156百万円　24年3月期　11,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	11.6	600	52.5	500	26.2	400	32.1	5.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	69,194,543 株	24年3月期	69,194,543 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,104,019 株	24年3月期	1,102,586 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	68,091,446 株	24年3月期3Q	68,094,435 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 2
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
４．補足情報 …… 7
生産、受注及び販売の状況（連結） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連需要などを背景に国内需要は底堅く推移し、また、12月の政権交代に伴う経済再生に向けた政策への期待感から、外国為替相場は円安方向に、株式市況は上昇傾向となるなど景気浮揚への変化の兆しが見られるようになりました。しかしながら、通期では欧州経済の長期低迷や新興国の経済成長の鈍化などの影響により先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主力事業である橋梁につきましては、当第３四半期連結累計期間の国土交通省や地方自治体の発注量が前年同期に比べ大きく減少したことから、総発注量でも依然低調に推移し前年同期を若干下回ったものと思われます。また、民間工事量も減少傾向にあり、熾烈な受注競争が継続し、厳しい事業環境となっております。

このような環境下、当社グループは、事業会社の宮地エンジニアリング株式会社が有する製作・架設力などの総合エンジニアリング力を最大限活かし、道路橋などの公共事業、鉄道橋・鉄構などの民間事業、合成床版などのＦＲＰ事業、保全・補修事業などに注力し、受注、売上、利益の安定確保の施策を継続的に推進しております。

当第３四半期連結累計期間の受注高につきましては、積極的な営業活動を継続して展開した結果、156億88百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

売上高につきましては、前年同期に比べ増加したものの一部工事の進捗遅れもあり、143億17百万円（同3.6%増）となりました。

損益につきましては、コスト削減に引き続き努め、生産効率化などの施策効果が見られたものの、前年同期に比べ採算の厳しい工事が進捗し、利益率が低下したことから、営業利益は５億75百万円（同14.5%減）、経常利益は５億90百万円（同16.0%減）、四半期純利益は５億45百万円（同17.9%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産合計は、前連結会計年度末と比較して１億55百万円減少し、279億29百万円となりました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金が16億70百万円増加しましたが、流動資産のその他に含まれる未収入金が10億86百万円、および現金預金が９億95百万円減少したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して９億10百万円減少し、157億73百万円となりました。主な要因は、未成工事受入金が４億21百万円、および短期借入金が３億50百万円減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して７億54百万円増加し、121億56百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が５億45百万円増加したためであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社を取り巻く環境は、平成24年度補正予算により国土交通省や地方自治体の発注が増加してくるものと思われます。また、道路橋および鉄道橋の大規模改修工事など今後の需要増加が期待されますが、受注競争は依然として厳しく、引き続き予断を許さない状況で推移するものと予想されます。

当第３四半期連結累計期間における業績は、前年同期に比べ売上高は増加したものの、採算の厳しい工事の進捗により利益は減少いたしました。第４四半期以降もグループが保有する実績・技術力・架設力を活かして、受注に向けた営業体制を強化し、技術提案力、積算精度の向上を図り、情報収集力を高め、総力を挙げて安定的な受注の確保に努めるとともに、製作から架設までの総合的な技術力の強化と採算性の更なる向上を図ってまいります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	4,991,009	3,995,205
受取手形・完成工事未収入金	7,437,754	9,108,166
未成工事支出金	95,657	182,178
その他	1,388,116	352,619
流動資産合計	13,912,537	13,638,169
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,374,729	8,374,729
その他（純額）	2,783,152	2,611,669
有形固定資産合計	11,157,882	10,986,398
無形固定資産	187,973	162,443
投資その他の資産		
投資有価証券	2,580,565	2,906,438
その他	325,861	311,550
貸倒引当金	△79,940	△75,600
投資その他の資産合計	2,826,486	3,142,388
固定資産合計	14,172,342	14,291,231
資産合計	28,084,879	27,929,401
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	3,684,854	3,875,367
短期借入金	6,520,320	6,170,000
未払法人税等	50,073	48,017
未成工事受入金	950,694	529,092
工事損失引当金	689,448	548,100
その他の引当金	257,409	125,497
その他	438,199	302,154
流動負債合計	12,590,999	11,598,228
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,213,913	2,213,913
退職給付引当金	1,445,929	1,439,449
その他の引当金	47,445	56,446
その他	385,163	465,265
固定負債合計	4,092,452	4,175,076
負債合計	16,683,452	15,773,304

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	3,746,234	3,746,225
利益剰余金	1,306,888	1,852,210
自己株式	△223,189	△223,373
株主資本合計	7,829,933	8,375,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141,474	351,013
土地再評価差額金	3,430,019	3,430,019
その他の包括利益累計額合計	3,571,494	3,781,033
純資産合計	11,401,427	12,156,096
負債純資産合計	28,084,879	27,929,401

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
完成工事高	13,823,305	14,317,139
完成工事原価	12,029,574	12,647,858
完成工事総利益	1,793,730	1,669,281
販売費及び一般管理費	1,120,574	1,093,554
営業利益	673,156	575,726
営業外収益		
受取利息	1,672	1,369
受取配当金	79,794	49,051
スクラップ売却益	60,154	31,324
貸倒引当金戻入額	22,385	8,000
その他	26,205	56,354
営業外収益合計	190,212	146,100
営業外費用		
支払利息	87,891	74,269
異常操業損失	59,849	47,599
その他	12,852	9,739
営業外費用合計	160,593	131,608
経常利益	702,775	590,218
特別利益		
固定資産売却益	4,541	20
ゴルフ会員権売却益	－	2,273
受取保険金	45,015	－
特別利益合計	49,556	2,293
特別損失		
固定資産除却損	2,057	4,022
災害による損失	46,988	－
その他	4,690	－
特別損失合計	53,736	4,022
税金等調整前四半期純利益	698,595	588,489
法人税、住民税及び事業税	38,126	39,915
法人税等調整額	△4,060	3,251
法人税等合計	34,065	43,167
少数株主損益調整前四半期純利益	664,529	545,322
四半期純利益	664,529	545,322

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	664,529	545,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△367,773	209,538
土地再評価差額金	290,423	－
その他の包括利益合計	△77,349	209,538
四半期包括利益	587,180	754,861
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	587,180	754,861

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

４．補足情報

生産、受注及び販売の状況（連結）

① 生産の状況

製品別	前第３四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）		当第３四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）		前連結会計年度（自 平成23年４月１日 至 平成24年３月31日）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
橋梁	12,803,215	92.6	11,506,928	80.1	16,352,461	91.2
建築他	1,028,632	7.4	2,861,242	19.9	1,576,006	8.8
合計	13,831,847	100.0	14,368,171	100.0	17,928,468	100.0

② 受注の状況

（受注高）

製品別	前第３四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）		当第３四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）		前連結会計年度（自 平成23年４月１日 至 平成24年３月31日）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
橋梁	11,328,961	85.0	13,604,582	86.7	21,069,306	83.4
建築他	1,992,032	15.0	2,083,580	13.3	4,194,957	16.6
合計	13,320,993	100.0	15,688,163	100.0	25,264,264	100.0

（受注残高）

製品別	前第３四半期連結会計期間末（平成23年12月31日）		当第３四半期連結会計期間末（平成24年12月31日）		前連結会計年度末（平成24年３月31日）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
橋梁	13,550,762	88.7	21,920,573	89.5	19,768,081	85.5
建築他	1,724,933	11.3	2,576,968	10.5	3,358,435	14.5
合計	15,275,695	100.0	24,497,541	100.0	23,126,517	100.0

③ 販売の状況

製品別	前第３四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）		当第３四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）		前連結会計年度（自 平成23年４月１日 至 平成24年３月31日）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
橋梁	12,802,243	92.6	11,452,091	80.0	16,325,270	91.1
建築他	1,021,061	7.4	2,865,048	20.0	1,590,483	8.9
合計	13,823,305	100.0	14,317,139	100.0	17,915,753	100.0

※ 橋梁とは、新設橋梁の設計・製作・現場施工、既設橋梁の維持・補修・補強、橋梁周辺鋼構造物、複合構造物の設計・製作・現場施工、プレストレストコンクリート橋梁、ＦＲＰ構造物、その他土木事業であります。
建築他とは、大空間・超高層建築物、鉄塔、煙突、工場建物、その他鋼構造物の製作・現場施工、既設構造物の耐震・免震工事、その他の事業であります。